

「大人は子どもに喫煙の姿見せないで」

学校での禁煙必要性訴え

静岡でフォーラム

学校からたばこを追放しようという動きが広まっている。医師や教育関係者らを中心に結成された「子どもをたばこから守る会」が21日、静岡市で市民フォーラムを開き「学校の敷地内を全面禁煙に」などと訴えた。県教委の調査からは分煙や一部禁煙の動きは進んでいるものの、全面禁煙には至っていない県内の状況が明らかになっている。

全面実施5校 県教委調べ

「守る会」は喫煙の低年齢化や受動喫煙による子どもへの悪影響に対する問題に取り組もうと01年に発足。これまでフォーラムを2回開催したほか、冊子なども作成している。

今回のフォーラムでは、医師がたばこがもたらす害について説明。妊婦の喫煙について講演した県立子ども病院の医師、加治正行さんは「たばこはストレスがあっても、たばこで解決するのは間違い。胎児にとつては首を絞められているのと同じで、一種の犯罪行為だ」と語った。

ついでには、児童や教員が話し合った。静岡市立西奈南小6年の海野郁馬君は、祖父にたばこを辞めるように説得した体験を話し「大人は子どもに喫煙の姿を見せないでほしい」と訴えた。

一方、県教委が18日に発表した県内公立小中と県立学校における分煙・禁煙の調査結果（別表）によると、97.2%の学校が「分煙や禁煙の申し合わせがある」と答えたが、敷地内を全面禁煙にしている学校はわずか5校。喫煙場所の環境についても自然換気が54.4%と最も多く、換気扇は48.9%にとどまっている。

フォーラムで調査結果を紹介した静岡大学教育学部助教授の赤田信一さんは「和歌山県の公立学校ですでに全面禁煙が実現しているのに、5校のみという結果はあまりに恥ずかしい。04年には県内すべての学校で実現できるよう、県教委に働きかけよう」と話した。

現場から 教育はいま

学校内における喫煙に



「子どもの前でタバコを吸わないで」と訴える講師ら＝静岡市駿府町の県教育会館で

分煙・禁煙に関する調査結果

- (959校対象、単位は校数)
- 教職員などの喫煙について、分煙・喫煙の申し合わせがあるか
 - ある 932
 - ない 27
 - (申し合わせがある学校に) その喫煙方法は
 - 敷地内全面禁煙 5
 - 校舎内と運動場は禁煙 17
 - 校舎内禁煙 55
 - 定めた喫煙場所以外は禁煙 844
 - 喫煙環境は(複数回答可)
 - 自然換気 522
 - 換気扇を設置 469
 - 空気清浄機を設置 98
 - ついたてで区切る 59
 - 禁煙タイムを設けているか
 - はい 43
 - いいえ 888
 - 会議などを禁煙にしているか
 - はい 919
 - いいえ 12
 - 児童生徒から見える場所では喫煙しないか
 - はい 606
 - いいえ 343